
第48回ギャラクシー賞 CM部門で入賞！

放送批評懇談会が行っている「第48回ギャラクシー賞 CM部門」に、メ～テレ企業CMシリーズ(「政治ニュース編」「再放送編」「サスペンス編」など15秒14本)が入賞しました。

1963年に創設されたギャラクシー賞は、放送文化に貢献した優秀な番組・個人・団体に贈られる国内有数の賞で、「テレビ」「ラジオ」「CM」「報道活動」の4部門で審査されます。

CM部門に入賞したのは13作品で、この中から大賞1本、優秀賞2本、選奨10本が選ばれ、6月2日(木)の贈賞式で発表されます。

メ～テレがギャラクシー賞のCM部門で入賞するのは、2002年度の「羊の皮をかぶったテレビ アナウンサーおおかみ篇」以来2回目のことで、ギャラクシー賞入賞は、2008年度「テレメンタリー2008 終わらない小泉劇場」以来のことです。

このCMは、テレビを見ている「テレビの前の人」に焦点を当て、番組によって移り変わるさまざまな表情をとらえたもので、昨年9月には日本民間放送連盟賞CM部門で120秒バージョンが最優秀賞を獲得しました。

*こちらをクリックすると動画をご覧いただけます。

【制作のねらい】

野球中継を見ている人の多くが、「俺の采配なら毎年日本一だ！」と思って見えています。他にも、ニュースを見ながら総理大臣に説教したり、大人がアニメで涙を流したり、うちの近所が映るとちょっとドキドキしたり…そんな、誰もが「あるある！」と共感できるテレビの前のひとコマを表現することで、テレビを見ることの楽しさ、そして何よりも「テレビって、やっぱり身近にあるんだ」ということを再認識してもらいたいと企画しました。

「最近テレビを見なくなった」「面白くない」「元気がない」なんて声を耳にしますが、テレビはまだまだ最も手軽で、身近で、娯楽の王様なんだ！というテレビ局なりの反論です。

この件に関するお問い合わせは、こちらまでお願いします

<お問い合わせ先> メ～テレ(名古屋テレビ放送)
【広報部】 浅沼 052-322-7108